

(様式第9 別紙2:公開版)

## 養成技術者の研究・研修成果等

1. 養成技術者氏名: 松尾 知佳

2. 養成カリキュラム名: 技術移転支援養成プログラム

3. 養成カリキュラムの達成状況

ベンチャー起業・技術経営関連講義の受講

山口大学工学部・大学院のベンチャー起業・技術経営(MOT教育)の講義を受講し、「マーケティングスキル」、「技術戦略論」、「マクロ・ミクロ経済」などの知識を習得した。

技術移転関連実務に関する講習会・シンポジウムの参加・研修

各種の講習会・シンポジウムに参加して知識を習得。また、(有)山口ティー・エル・オーが出展する特許フェアに参加し、そのための資料作成や来場者への説明を行ない、技術移転について研修した。

特許講習会への参加

特許講習会への参加、特許検索指導アドバイザーによる指導等を受け特許マップの作成なども行なった。また、山口大学知的財産本部主催のセミナーにも参加し、実際に弁理士から明細書の書き方を学んだ。

技術移転事業の実務研修・業務把握

特許流通アドバイザー、産学連携コーディネーターおよび客員研究員(技術移転専門企業関係者)の指導により、学内研究者の技術移転について現場での研修を行なった。研究者に依頼されたIPDL検索による先行技術調査も行なった。また、資格取得に向け、弁理士からの必要なアドバイスを受けながら自習し、資格試験に向けた取組みを行なった。

研究推進・特許化研修

研究成果等についての知的所有権の確保・権利化を図るために受託研究員制度を活用して山口大学に赴き、具体的な特許化研修を実施するとともに、学内の関連特許関係者と連携を進めた。実際に、平成14年度山口大学大学院所属中に研究した専門分野の特許化推進に向けて資料や明細書作成の支援をし、発明者の一人として特許を出願した。

#### 4. 成果

##### ベンチャー起業・技術経営関連講義の受講

###### 【MOT- 「MOT 概論」の受講】

- \* マーケティングスキル、技術戦略論、技術者のためのマクロ・ミクロ経済分析、研究開発型ベンチャー論、開発プロセス概論などを受講した。自分も含め参加した学生も講義に非常に興味を持っていた。これからは理工系の学生もこのような知識を習得することは重要だと感じた。

##### 技術移転関連実務に関する講習会・シンポジウムの参加・研修

###### 【フェアの準備や参加】

- \* 出展研究の発明者との打ち合わせ、ポスター・資料などの作成、来場者への展示の説明を行った。フェアによって規模が違うことから、TL0 に興味がある来客者の数も異なり、出展研究と一致する企業が来る可能性は高くはない。しかし、これらのフェアの参加は直接その場でライセンスまで向う商談はあまり期待できないかもしれないが、この機会を利用して少しでも TL0 の存在を企業に知ってもらえればフェアの意義がでてくると思い、山口 TL0 の PR 等にも努めた。実際に来客者から TL0 の活動や状況、技術についての質問をうけることで自分の中の知識を整理でき、その後の技術移転業務に活用することができた。展示には研究者にも同席してもらうことで、少しでも興味がある企業や大学の研究者とコンタクトが取りやすいと思う。また、展示のポスターを学会用と同じ内容でなく、専門外の人に理解できるように容易化すると、多分野からの参入の可能性が出てくるのでは。学生の参加も一つの案。

###### 【シンポジウム・セミナー・研修等の参加】

- \* 今年度は全国各地でのセミナー・研修会等に参加する機会があり、多くの技術移転業務者と情報交換ができた。これらから得られたことは、技術移転には参考書や教科書のように1つの解決方法があるわけではなく、個人やその所属する組織そして地域によっても大きく異なることがわかった。周りの情報を取り入れながらそれぞれの個性（地域性）をいかに上手にフル活用できるかが今後重要な鍵となってくるような気がする。そのために今、若手実務者には良いスキルを得ること、すなわち経験と情報が最も必要だと思う。また、組織の連携や良い人材は非常に重要だと感じた。

##### 特許講習会への参加・研修

###### 【特許関係セミナーや講義の参加・先行技術調査や特許マップの作成等】

- \* 技術移転業務を行なうには、特許後のライセンスだけでなく、先行技術調査や特許マップを有効に活用することは特許化推進を円滑にかつ確実にするのに不可欠だと思う。これまで明細書の体系がよく理解できずに悪戦苦闘していたが、知的財産本部主催の明細書の書き方のセミナーを受講することによって、それまで引っかかっていたものがとれたような気がした。後は経験が必要だと思う。また、このような講義はもっと大学の先生や学生に参加してもらえると、より特許化や技術移転が身近なものに感じるのではないかと思う。

##### 技術移転事業の実務研修・業務把握

###### 【技術促進のための資料等、ツール作成（個別特許紹介のビデオ制作等）・技術移転業務他】

- \* 各フェア等に出展する山口 TL0 出願特許情報の紹介資料の作成や、個別特許紹介のビデオ（各10分、山口ケーブルTVやフェアで放映）の制作を行った。これらは周囲に情報提供をするだけでなく、自分自身の TL0 や発明特許への理解がより深まる。これも技術移転を成功す

る秘訣ではないかと考える。技術移転は「お見合い」で、ライセンス・アソシエイトは「お見合い仲介のおばさん」と同じようなものだと言われている。お見合い仲介のおばさんは双方の意見や好みを上手に入手して、将来も見越した上で一番相性のあう2人のための場をセッティングする。決して外見だけでなく内面的・将来的な長所をも見つけ出して紹介する。まさに技術移転にも当てはまることだ。技術移転は、ただ技術をマッチする企業に移転するだけでなく、将来を見越して技術をいろいろな角度で先入観をなくして見ることも重要なことだと思う。常識を当たり前と思わずに、技術を日ごろ使っている周辺のもの組み合わせることも必要なことで、身の回りにあるものすべてに関心を持ち広い情報を入手しておくべきだと考える。技術移転も、既存の発明と新しい発明を結びつける発明のような気がする。また、特許化やライセンスだけでなく、その後の侵害や裁判を避けるための基盤となる知識も重要だと考え、現在技術移転に必要な特許関係の専門の勉強をしている。今後も技術移転の円滑化のためにスキルアップを目指す。

#### 研究推進・特許化研修

##### 【特許推進・特許化】

- \* 平成14年度山口大学大学院所属中に研究した専門分野の特許化推進に向けて、特許流通アドバイザーや教官との打ち合わせや、資料作成、明細書作成の支援、確認等を行い、実際に発明者の一人として特許を出願した。また、大学の技術シーズの調査や、第一フェーズとして卒業した学科の教官を訪問し、TLOの活動紹介や技術移転等に関する説明等を行なった。今後、多分野において絞り込みや具体的な訪問を行い、技術移転・特許化の推進をする予定である。特許化・技術移転においての大元は、やはり大学の研究者であって、その部分の意見や考えは無視できない。技術移転業務者の専門的な意見だけでなく、生の声を聞くことはいい技術移転を行うために欠くことのできないものだと思う。今回は自分の専門の学科の教官だったせいか、本音に近い会話ができた。今後、広範な分野において研究者の意向や技術をしっかり伝えることのできるような活動をしていきたい。

#### 5. 成果の対外的発表等

(1) 論文発表(論文掲載済、または査読済を対象。)

該当なし

(2) 口頭発表(発表済を対象。)

該当なし

(3) 特許等の出願件数

該当なし

(注)上記4.の に記述した特許出願は、NEDO フェローの研究成果としての特許でないこと  
でここでは該当なしとした。